

中学1年1組 社会科学習指導案

指導者 原 義 昭

世界の人々の食生活は、自然環境や生活習慣、宗教など多くの影響を受けている。このことを考えるために、インドの食生活で確認し、食の変化や未来を考える活動を設定したことは、世界各地の人々の食生活に対する見方・考え方を高めることに有効であったか。

1 単元名 世界各地の人々の生活と環境

2 授業の構想

(1) 中学1年生の地理的分野の学習は、世界の地域構成について学習することから始まり、写真や映像など具体的な資料を準備し、世界の地域構成や生活の舞台としての地球の姿を大観させ、世界の国々や地名、世界地図などに関心を高める活動を行ってきた。また、地図の読図や作図、地球儀を活用することなどの技能の習得に力を入れてきた。本学級の生徒は、社会事象に対する関心・意欲の高い生徒が多く、身近な出来事に関心をもち、疑問に感じたことを意欲的に追求することができるように思われる。授業後の自己評価カードを見ると、多くの生徒が自分の気づきや疑問を取り上げている。しかし、学習課題に対して深く考え、判断した結果を表現する活動は、まだ十分に定着しておらず、事象を取り上げ、生徒一人一人が主体的に学習できるようさまざまな授業形態を工夫していきたいと考えている。

(2) 本単元は、新学習指導要領における地理的分野の大項目「世界とさまざまな地域」の項目イ「世界各地の人々の生活と環境」に基づいて設定したもので、世界各地の人々の生活の様子を衣食住や宗教を中心に、自然及び社会的条件と関連付けて大観させ、世界の人々の生活や環境の多様性に着目させることをねらいとしている。

本単元にかかわる内容としては、小学校第5学年と第6学年の学習が関連する。第5学年では「国土の位置」（わが国の領土と近隣の諸国、国旗）、第6学年では「国際理解や国際交流」の内容にかかわる学習が取り扱われることになっている。しかし、いずれも国土の概要を理解したり、わが国と関係の深い国の様子を理解することが目標となっている。したがって、衣食住・宗教を中心とした世界各地の人々の生活の様子についての学習は、中学1年生で初めて扱う内容が多いと考えられる。

ここでは、世界全体が学習の対象となっており、人々の生活を中心に扱うのであって、人々の生活の地域的特色を自然的条件の違いに着目して説明する環境決定論的な学習にならないように配慮する必要がある。社会的条件については、地域の歴史的背景や住民の民族構成などが人々の生活に影響を与えていることにも留意していきたい。大切なことは、地域の人々の生活はそれぞれの地域の地理的諸条件のもとに成り立っているということ、他地域の人々の生活を理解するのに自分たちの生活を絶対無視してとらえてはいけないということ、に留意しながら異文化を理解していくことではないかと考える。本単元は、地理的分野の学習の導入時に、世界の国々の名前や位置、国旗だけでなく、世界各地の人々の生活の様子について多面的に学習を深めることのできる格好の教材と考える。

(3) 以上のことから、地理的分野の学習の導入段階にあたる本単元で、世界の人々の生活について興味・関心を持つことができる生徒、同じような自然条件の地域でも異なる生活の特色に気づいたり、社会的条件による生活の違いなどを理解することができる生徒を育てることが、地理的分野の目標の達成からも大切なことであると考えられる。

そのためには、第一に学習前に必ず生徒の意識調査を実施し、その傾向を把握すること、第二に具体的にわかりやすい資料を準備することの二点を配慮していきたい。また、本単元は、世界の人々の生活や環境の多様性と同じ地域での変容という点に重点を置いて学習する。いずれの学習も具体的な事例を

もとに学習を進め、生徒の理解を容易にするよう工夫していかなければならないが、世界の人々のくらしの学習においては、興味・関心もてるような配慮を、世界の人々の衣食住については、自分としての見方や考え方もつことのできるような資料の活用や話し合いの場面を設定していきたい。

本時の学習では、次の5つの点に留意しながら学習を展開していきたいと考えている。

- ① 具体的な資料を準備する。
- ② 生徒に生活体験を生かした思考をさせる工夫をする。
- ③ イメージを定着させるための小道具を準備する。→食事に関するカード
- ④ 視聴覚教材を活用する。
- ⑤ 小集団の活動場面を多くし、そこでの活動が学級全体の学習に広がるようにする。

3. 展開計画（全9時間 本時5／9）

次	主な学習活動	時	具体的な学習活動	社会科における思考力・判断力・表現力の評価の観点
1	世界各地の人々の生活の多様性とその変容を知ろう。	1 4	・調べる地域は、どのような地域なのかを全体的に概観する。 (1) アラスカの人々の生活と変容 (2) コンゴとキリバスのくらしとその変容 (3) ペルー（インディオ）のくらしとその変容 (4) 韓国の人々のくらしとその変容	取り上げた国や地域の・民族の名前や位置を把握するときに、どのような方法で、どのような観点で見えていくのかを考えている。
2	世界各地の衣食住・宗教を調べてみよう。世界各地の人々の生活に影響を与えているのはどんなことだろうか。人々の生活を見る視点を明らかにして、課題を解決しよう。	⑤ 6 7 8	<世界各地の人々の生活に影響を与えているのはどんなことだろうか。> ・次の4つの視点から、人々の生活を調べる。 (1) 世界の食生活についてみんなで考え、食に関する多様性と変容をとらえよう。 追求テーマをもとに次の視点で調べてみよう。 (2) 世界のさまざまな住居 (3) 世界の民族衣装 (4) 世界の宗教	具体的な事例から、わかることを見つけ出し、何が問題なのか、なぜそうなったのか、課題を見つけ出そうとしている。設定した課題について、調べたり、まとめたりすることから、地方の変容や人々の選択について考えている。
4	自分の考えを深めよう	9	・学び合いを通して追求したテーマについて、まとめる。 ・生活はいろいろな要素で成り立っていることに気づき、世界を見る視点をつかむ。 <100年後はどんな世界になるのだろうか>	友だちのまとめや説明を聞くことで、その地域の生活を地理的条件や歴史的背景から、また、その変容を多面的に考えようとしている。

4 本時の学習

(1) ねらい

- ① 地域によって食事の内容やマナー、食習慣が異なることを、自然環境や歴史・宗教などの諸条件と関連付けて理解できる。
- ② 地域によってさまざまな食文化が存在していることに気づき、異文化を理解し尊重しようとする。

(2) 展開

学習場面と子どもの取り組み	教師の支援と願い・評価
1 前時までの学習について確認し、本時の学	・本時の学習内容を把握し、見通しを持つこと

習のテーマを知る。

- ・アラスカ ・コンゴとキリバス
- ・ペルー ・韓国

※くらしの違いは、どこから生まれるのだろう。
「食」について考えよう。

2 「食事に関するカード」を見て、どこの地域の食事なのかを考える。

- ・ア アラスカ ・オ ペルー
- ・イ サウジアラビア ・カ 韓国
- ・ウ インド ・キ 日本
- ・エ イラン

3 黒板にできあがった「食事に関するカード」の分布から、気づいたことを発表する。

- ・食材について ・食べ方、マナー
- ・調理の工夫について ・食器、調理器具

ができるように、前時までの学習を振り返る。

・地域によるくらしの違いに気づかせ、違いはどこから生まれるのか、何がくらしを変えているのかを「食」に視点を当て学習することを意識させる。

・ア～キについては、カードにして、黒板に貼れるように準備しておく。

・気がついたことが記入できるように、黒板に地図をかいておく。

・分布を確認しやすいように、色分けをした資料を作成し提示する。

・気づいたことが内容別に整理できるように、類別して板書していく。

地域による食事の内容やマナー、食習慣の違いは、どんなことと関連しているか考えよう。

4 食生活の違いがどこからくるのか、予想したことを出し合う。

- ・気候や地形が関係あるのではないだろうか。
- ・食生活は、その地域の文化だから。
- ・とれる作物と関連があるかもしれない。 など

5 食生活の違いがどこからくるのか、インドの食生活から考える。

- ① 予想を立ててみよう。
- ② 資料から見つけたことを書いてみよう。

・食材に何が使われているか、食器にはどんなものがあるか、など具体的なところに気がつくように、材料、道具などについて目を向けるように助言する。

・ワークシートは事前に配布しておき、すぐに活動に入れるようにする。

思考力・判断力・表現力を育成する学習活動

③ 人々の食生活に影響を与えていることは、どんなことが考えられるか、ワークシートにまとめ、班の中で発表する。

宗教 ・自然環境 ・習慣、伝統 ・民族

・具体的な資料を根拠に話し合いができるように、発表の仕方を確認する。

・宗教の影響に気づかせるために、アラブの人々の生活を想起するよう助言する。

6 今後、食の文化はどうなるのか、未来の食について考える。

- ・変わっていく
- ・変わらない

・グローバル化した食生活に気づかせるために、伝統的な食文化に対して、現在ほどのようになっているのか紹介する。

7 次時からの学習の視点を確認する。

--- 評価の観点（思考力・判断力・表現力） ---
食生活の背景を、他者の発言と関連付けることを通して、多面的に考えを深めることができたか

【評価方法：発表・ワークシート】